

## 甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年10月5日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（8名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	伊藤毅君		金丸幸司君
	滝川美幸君		松井豊君
	有泉庸一郎君		藤原正夫君

議長	長谷部集君	副議長	小澤重則君
----	-------	-----	-------

### 欠席委員（1名）

内藤久歳君

### 傍聴議員（1名）

斉藤芳夫君

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

### 内容

- 1 議員アンケート集計結果について
- 2 市民参加による議員研修会開催要領について
- 3 その他

開会 午後 1時27分

○書記（輿石文明君） 改めましてこんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに委員長挨拶、清水委員長、お願いいたします。

○委員長（清水正二君） どうもこんにちは。

閉会中の委員会開催ということでご苦労さまでございます。

この前、協議をいただきました議員のアンケートの結果という形でもって報告ができるようになりまして、そういった中で議会改革特別委員会を進めたいと思います。スムーズな進行をお願いしまして、挨拶といたします。どうぞよろしく申し上げます。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、長谷部議長、お願いいたします。

○議長（長谷部 集君） お忙しい中をご参集いただきまして、まことにありがとうございます。

いよいよ改革特別委員会の中でも研修会という大きな催し物が目前に迫ってきておりますので、具体的なお協議をいただきたいというふうに思っております。

決算委員会の9月の定例会も終わりました、これからいよいよ本格的に改革のほうに定数の問題等を皆さんにご議論いただけるというふうに思っております。改革の委員以外の全議員の意見をなるべく集めながら進めていきたいというふうに考えておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては、清水委員長、よろしく申し上げます。

○委員長（清水正二君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、内藤委員は欠席の連絡がありましたので、報告をいたします。

---

○委員長（清水正二君） それでは、本日の会議を開きます。

それでは、内容に入ります。

内容1の議員アンケート集計結果についてを議題といたします。

初めに、事務局の説明を求めます。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） それでは、資料の1ページをお願いいたします。

議員アンケートの集計結果についてご報告いたします。

初めに、(1)議員定数について。設問1、「議員定数の直しは必要ですか」という問いに対しまして、「はい」と答えた方が16人、「いいえ」が6人でございます。

次に、設問2、「見直しの場合、何人の議員定数ですか」ですけれども、「20名」と答えた方が8人、記載なしが6人、「18人」が4人、「19人」が1人、「16人」が1人と「2人」が1人、「20から18」が1人という結果でございます。

次に、設問3、「見直しの場合、3常任委員会の数をどうしますか」という問いの回答では「現状どおり」が15人、記載なしが5人、「2常任委員会」が1人、「廃止」が1人でございます。

次に、2ページをお願いいたします。

(2)議員報酬についてですけれども、設問1、「議員報酬月額35万円の見直しは必要ですか」は、「はい」と答えた方が18人、「いいえ」と答えた方が4人でございます。

次に、設問2、「見直しの場合、月額幾らですか」という問いの回答では、「40万円」と答えた方が13人、記載なしが4人、「45万円」が2人、「50万円」が1人、「38万から40万円」が1人、「？」が1人でございます。

次に、設問の3、「定数を削減した場合は、議員報酬月額35万円はどのようにすべきですか」という問いかけに対しては、「増額」が18人、記載なしが3人、「現状維持」が1人でございます。

次に、(3)議員定数、報酬に対する意見等自由記載ですけれども、お手元に配付してあります一覧表のほうに記載がありますので、ご確認をお願いいたします。

説明は以上でございます。

○委員長（清水正二君） 説明が終わりました。

アンケート結果について、今後の進め方についてどなたかご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

この中に1つ、設問2のところに定数2人とあるんですけれども、私が察するところ、減の感覚ではないかというふうに思うんですけれども。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 前、この結果をいただいたときに、ここにあるように、ちょっと見直しの定数、「記載なし」という人が6人いるんですけれども、どういう取り扱いをするんですかね。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 「何人の議員定数ですか」の記載のなしの6人につきましては、上のほうの「定数の見直しが必要ですか」が「いいえ」になっている方でございます。定数の見直しが必要ない方は現状どおりということで記載がないということでもあります。

○委員（藤原正夫君） 現状どおりと、そういう意味合いということか。

○書記（興石文明君） はい。

○委員長（清水正二君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） わかりました。現状どおりということで。

○委員長（清水正二君） そういう解釈で成り立つと思います。

ほかに。

結果に対して、また今後の進め方、このアンケートに対して今後の進め方についてご意見がありましたら。今回はこの結果を結果として今受けとめ、この結果の取り扱いを今後どうするかということでご意見をいただきたいと思いますが。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 民主主義ですから、多数決というふうなことの理論でいくと、大体おのずと決まってしまうんですよ。ただ、少数意見をどうするかという問題が今後出てくるかなというように思います。ですから、一応私とすれば、個人的な考え方は見直しが必要、定数は20、それから常任委員会は現状、それから見直しは必要、それから月額幾らとか、40万とか、こういうものが大体多数の意見になっているわけですよ。そこをまず前提としてやるのが一番進め方としてはいいのかなというように思いますけれどもね。

○委員長（清水正二君） これはアンケート結果として、この内容の結果が出たから、多数決でもってこの中の多い意見でもってこれを進めようという考えでは今のところはありません。ただ、議員各位が今現状の中で、どのような感覚を持っておられるか、そこを知りたいということでこのアンケートを実施いたしました。ある程度皆さんの意識がそこら辺にあるなどという方向づけの中で、まだこの後、協議の中で入りますけれどもね。

○委員（五味武彦君） ある程度の仮説を立ててやらないと出口が見えないのかなというよう

に思いますので、ちょっと一言だけ、そんな話です。

○委員長（清水正二君） わかりました。ほかに。

今は現状の中で、今言ったこの結果として、結果の中で疑問に思われているところとか、そういったところをご意見をいただければというふうな思いですけれども。

結果についてはこんな形ですけれども、ただ、見直しの場合の定数の回答で私が見て、定数が20、18、16人という回答があるんですけれども、その中に突出して2人というのがあったんで、意図としては当然議会の定数として2人というのはありませんので、2人減ではないかなというふうに思うんですけれども、皆さんの解釈の問題ですので、いかがでしょうか。そういう解釈で2人減ということになれば、20人のところに含めたいと私は思うんですけれども、いかがですか。

松井議員、いかがですか。

○委員（松井 豊君） その理解ですかね。

○委員長（清水正二君） 余りにもこの2人というのはアンケート結果として不自然、考えとして。意図とすれば多分2人の減という意識、感覚ではないかなというふうに思うんですけれども。

〔「どっちかわからん」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 丸を書き忘れたとしても20で2人減ということですから、委員会としてそういう解釈をとったということによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） じゃ、そういう形で事務局のほうへこれを結果として訂正を。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、1ページの設問2ですけれども、一番上の定数20人が9人、定数2を削除という形で集計結果としたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（清水正二君） 暫時休憩をいたします。

休憩 午後 1時39分

再開 午後 1時41分

○委員長（清水正二君） 再開をいたします。

それでは、アンケート結果と今後の進め方についてご意見をいただきましたので、今後具体的な協議を進めるということで、11月の江藤先生の講演を聞きまして、再度議員各位のアンケートをもう一度、講演を聞き終わった後のまた皆さんの考えということでアンケートを行って、また市民のアンケートをいただいた中のその結果を見ながら、また議論をしたいと思えますけれども、そういった形でいかがでしょうか。よろしいですか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 1点、このアンケートに議員定数及び報酬に対する意見の自由記載があるんですけども、この内容をしっかり協議していきたいというふうに思うんですね。市民アンケートをいただいたこともそうですけれども、ここに書かれていることも非常に大事な内容もあるかと思うので、この内容を踏まえて協議ができたらというふうに考えています。

○委員長（清水正二君） 金丸委員のほうから意見をいただきましたけれども、ここに自由記載ということでありますよね。これは我々が今後これを定数につきましてもそういった形の中で結論というか、我々の結論が出た時点での理論武装という中に入っていきますね、当然。その理論づけ、どういった形で定数がどうなったのか、現状維持なのかどうなのかという形のもものが理論的に裏づけをつける。そのときにこのものを参考にしたり、各委員のご意見をいただいて、そこで集約をして議長に報告するという形をとりたいというふうに思いますけれども、今ここでこのものを決定してないのに、このものでいくという形の中での形で今進めるというふうには思っていないんですが。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） このアンケートはどうでしたか。もう配って、きょうを期してみんなに配るんですか。どちらですか。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 本日の資料につきましては、この会議終了後、メールボックスのほうに投函になります。

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

○委員（五味武彦君） はい。

○委員長（清水正二君） 金丸委員、先ほどのそれでよろしいですか。

○委員（金丸幸司君） はい。

○委員長（清水正二君） それでは、また江藤先生と市民アンケートをいただいた中でもって、

またそういったものを議論していきたいと思います。

再度確認いたしますが、それでよろしいですか。

それでは、そのようにいたします。

以上で議員アンケート集計結果についてを終わります。

次に、(2)の市民参加による議員研修会開催要領についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記(興石文明君) 資料の3ページをお願いいたします。

市民参加による議員研修会開催要領についてご説明をいたします。

まず1、趣旨ですけれども、本市議会の議員定数及び議員報酬の見直しの調査研究のために実施するとしております。

2、研修会の名称ですけれども、市民参加の甲斐市議会議員研修会。

3、主催ですけれども、甲斐市議会(議会改革特別委員会)。

4、対象ですけれども、市民及び甲斐市議会議員。

5、募集人数ですけれども、市民270名程度。

6、日時ですが、11月16日金曜日、午後7時から午後9時まで。

7、会場ですが、敷島総合文化会館大ホールとしております。

8、講師につきましては、山梨学院大学、江藤教授でございます。

9、講演の内容ですけれども、議員定数、議員報酬のあり方について。

10、周知の方法ですけれども、議会だより、議会ホームページ及びチラシ1,000枚の印刷でございます。

11、アンケート調査ですけれども、市民の議員定数、議員報酬に対する考えを聞くため、参加者のアンケート調査を実施いたします。

4ページお願いいたします。

12、運営主体ですけれども、議会改革特別委員9名と正副議長2名、合計11名でございます。

13、運営協力ですけれども、議会改革特別委員会の委員以外の議員さんに5名協力要請をしたいと思います。下のほうに各会派の委員外の議員さんを記載をしております。半数の協力がいただければ5人となります。

次に14番、研修会の次第ですけれども、(1)開会挨拶、(2)議長挨拶、(3)講師

紹介、(4)講演、(5)質疑応答、(6)閉会の挨拶という次第でございます。

次に、15、役割分担につきましては、総括責任者1人、司会者1人、開会挨拶1人、閉会挨拶1人、会場設営係、受付係、アンケート係、あとマイク係につきましては、議会事務局のほうで対応をしたいと考えております。

以上でございます。

○委員長(清水正二君) 説明が終わりました。

13番以降の運営協力以降は協議を行い、決定していきたいと思いますが、1から12まででどなたかご意見等がございましたらお聞きしたいと思います。12番の運営主体までですね。

金丸委員。

○委員(金丸幸司君) ちょっとこの最後の15の役割分担ですけれども、これは議会改革特別委員会以外の方々に……

[「12番まで」と呼ぶ者あり]

○委員長(清水正二君) 13番からは、また協議をいたします。

五味副委員長。

○委員(五味武彦君) 周知方法の中で議会だよりとあります。きのう議会だよりの校正をやりまして、表紙に名刺大ぐらいでこういうことをやりますよと。それから、最終ページかどこかにもっとちょっとでかく入れる予定です。現物あるね。ちょっと紹介してもらえますか。

○委員長(清水正二君) ちょうど今月号。

○委員(五味武彦君) そういうことですね。

○委員長(清水正二君) では、ちょうど広報の委員長であります五味副委員長がおりますので、ちょうど今回の議会だよりに周知の案内が載せられるということになりましたので、ほかに。

五味副委員長。

○委員(五味武彦君) 今、一番表紙に入れましたけれども、あれはめったにないことで、我々の意気込みを表紙からスタートしようというつもりで小澤書記に考えてもらったやつなんで、紹介だけさせていただきます。

○委員長(清水正二君) 金丸委員。

○委員(金丸幸司君) 周知方法で議会ホームページ等及びチラシ1,000枚とあるんですけれども、自治会連合会さんとか、自治会長さんのところに何か周知とか考えていますか。

○委員長（清水正二君）　そうですね。皆さんのほうからご提案がなければ、私のほうから提案する予定だったんですけれども、今回の議員定数についての議会改革の議題としての一義的なものは、やはり自治会連合会から要望が来てということで、議長はその返答として今議会でもって対応をとりますということをやっておりますので、当然要望が出た以上、その自治会長にお配りしたい。各自治会の自治会長さんに1人ずつ郵送で送れると思うんですけれども、その点ちょっと事務局に聞いてみます。

興石係長。

○書記（興石文明君）　自治会連合会といますか、自治会の区長さん宛てに案内を郵送することは可能ですので、この会議で決定していただければ郵送させていただきます。

○委員長（清水正二君）　それでは、今、金丸委員のほうから出ました自治会長さん宛てに郵送でこの研修会の案内を送付するということがよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君）　ほかに。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君）　そのままあのチラシを送ると参加するのか、しないのかとか、そういうリクエストというか、アンサーがないんですよ。それでも大丈夫。ただ配りっ放し。この辺をちょっとどうなんですかね。事務局へ連絡してくればいいのか。

○委員長（清水正二君）　興石係長。

○書記（興石文明君）　チラシだけじゃなく、議長名で区長さん宛てに案内のかがみ文をつけて送付するわけですが、出欠のほうの確認はとる考えはございません。

○委員長（清水正二君）　ほかにご意見ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君）　一応そんな格好でいいと思います。

○委員長（清水正二君）　有泉委員、いいですか。

藤原委員、それでよろしいですか。

○委員（藤原正夫君）　はい。

○委員長（清水正二君）　伊藤委員、よろしいですか。

○委員（伊藤 毅君）　はい。

○委員長（清水正二君）　滝川委員、よろしいですか。

それでは、そのように行いたいと思います。

次に、13の運営協力についてですが、改革の委員以外を半分に分けて、今回の議員研修会と2月に予定しております対話集会にご協力をいただきたいと思いますのですが、これによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにいたします。

次、今回5名要請したいと思いますが、本日、この中で13番の中で各会派の名前があるんですけども、ここで人選が各会派の中でされていけば人選をしていきたいと思えますけれども。

○委員（五味武彦君） あくまで予定でいいですか。全員そろってなかったんで、確定はできないんですけども、地域性を考えて、今回の16日は小浦議員、横山議員。2月のほうが竜王分ですから、金丸議員、斉藤議員というふうな形で分けたい。地域性で分けたいと思ってます。ですから、2人。あくまで予定です。変更ありということでお願いします。

○委員長（清水正二君） 創政甲斐クラブさんは。

○委員（藤原正夫君） まだちょっと内藤委員もきょうは欠席ということで。いずれ2人しかいないんで、どっちかと思えますけれども。すみませんけれども、早急に連絡します。

○委員長（清水正二君） 新政会はまだしてなかった。

公明党さんのほうは。

○委員（金丸幸司君） まだちょっと決めてないです。

○委員長（清水正二君） 決めてないですか。

日本共産党さんのほうは当然、2人だからあれですよ。議会改革に入っているんで、松井委員はどちらも出ていただくんで、谷口議員は2月のほうに回っていただきたいと思えますけれども、2人なんですすみません。

颯新は。2人入っているから両方ですよ。

○委員（有泉庸一郎君） 両方入っている。

○委員長（清水正二君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 一応先ほどの五味委員のほうが言って、2回やるんで、保坂芳子議員を敷島のほうへ、竜王のほうへ加藤議員、一応それで。

○委員長（清水正二君） これについてはまた人選のほうが決まり次第、私のほうでも事務局のほうでも連絡をいただきたいと思います。次回までにこれを決めていきたいんで、いつまでにしたほうがいいかな。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 1時56分

○委員長（清水正二君） 再開いたします。

じゃ、来週中までに事務局のほうにお願いをいたします。

では、決まり次第ということで決定したいと思います。

次に、14の研修会の次第ですが、（1）から（6）でよろしければ、次の15の役割分担を決めたいと思いますが、次第のほうはこれでよろしいでしょうか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 14からいくと（2）の議長挨拶で、開会、閉会はもう当然形式的に言えば正副委員長さん、あと司会者ぐらいがあれだと思うんですけども、そうですね。司会者となると、ここで誰々ともう名前を言うというか、希望というか、難しいんですけども、すみません、私は司会者としては女性か、それか若手の金丸委員あたりが2人、どちらか、今国会でも女性の議員さんが少ないようですし、男だったら伊藤委員もいいんですけども、ちょっとまだ、ちょっとまだということないですね。こっちの上の段だともう私たちはというような感がある。というようなあれですけども。

○委員長（清水正二君） 今、藤原委員のほうから司会者を女性もしくは若手の登用でどうかということと、それから、開会のほうと閉会を正副委員長という案が出ましたけれども、ほかにございますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） いろいろすみません。本来であればこういう形式になると委員長一任とか、執行部一任というような形になるけれども、それでもいいですけども、そうはいつでもある程度決められれば決めたほうがいいんじゃないかと。いろいろ案がずれて申しわけないですけども、そういうやり方もあります。

○委員長（清水正二君） 私の腹案としては、議長挨拶があるので、閉会のほうは副議長にお願いしたいなというふうに私の腹案では思っておったんですけども。

○委員（藤原正夫君） じゃ、執行部一任ということで決めてください。

○委員長（清水正二君） 一任でよろしいですか。今の藤原委員の発言を踏まえた中で一任を受けたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

それでは、あと15の役割分担ですけれども、この役割の中ですが、来週末まで運営協力の人員がまとまらないので、それが出てこないこの役割が出ない形なんですけれども。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 総括責任者はもう委員長ということじゃないんですかね。そこだけ決めておいたほうがいいと思うんですよ。

○委員長（清水正二君） 今、松井委員のほうから総括責任者ということで私ということがありましたけれども。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ほかのほうも次第の役割について藤原委員のほうから一任という形を得ましたんで、その15番の役割分担についても、できれば正副委員長と執行部とで一任を受けたいと思うんですが、よろしいですか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 14番の講師紹介が司会者になっていますけれども、これだけ議会改革の委員さんが何人かいらっしゃいますので、講師の紹介というのは司会者と別に講師紹介の役割をつけたほうが良いような気がしますけれども。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） 今の件も含めてですけれども、一任という声もありましたけれども、確認ですけれども、まず15の役割分担のところで総括責任者は、委員長、司会者は先ほど意見がありましたけれども、できればこの場でお決めいただきたいと。開会挨拶につきましては委員長でよろしいでしょうか。閉会挨拶が副議長、あと（5）、（6）、（7）につきましては、委員長、副委員長と相談をしまして、事務局のほうで割り当てをしたいと思えます。今出ました講師の紹介と、できましたら司会者は本日決めていただきたいと思えますので、お願いいたします。

○委員長（清水正二君） 五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 内輪でやると聞いたら、いいよと言ったので、滝川委員を推薦いたします、司会者として。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 伊藤委員、いかがですか。

○委員（伊藤 毅君） 異議なし。

○委員長（清水正二君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 結構です。

○委員長（清水正二君） 有泉議員はよろしいですか。

じゃ、そういうことで、司会者については滝川委員ということで、藤原委員もよろしいですね。

○委員（藤原正夫君） はい。

○委員長（清水正二君） 満場一致で。

今お話が出ましたけれども、滝川委員のほうから講師についてはそういった別の方がということでしたけれども、いかがでしょう。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） そこまで言われるのであれば、私はまたじゃ、金丸委員を推薦します、講師の紹介。いや、これはあくまで私の意見ですから、みんなに諮ってください。

○委員長（清水正二君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 金丸委員でもいいんですが、いまだにこういう講師の紹介というのは事務局サイドが結構やっているケースが多いと思うんだけど。

○委員長（清水正二君） 私としてわがまを言わせていただければ、閉会の挨拶を藤原委員のほうから副委員長という声があったので、講師の紹介は私の腹案ですけれども、副委員長にお願いできればなというふうに思っているんですけど。

○委員（五味武彦君） 委員長一任にしたから。

○委員長（清水正二君） じゃ、そういった形でいたします。

これで今の中での人員の役割分担と申しますか、次第の役割分担等は決まりましたけれども、このような形でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

それでは、そのように決定させていただきます。

次に、当日のアンケートの内容について協議をいたします。別紙をお願いいたします。

この前、ご協議をいただいた上のアンケートですので、それを踏まえた中で確認をしてい

きたいと思います。

上から設問1といたしまして、性別、男性、女性。

設問2といたしまして、年齢、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80歳以上。

設問3といたしまして、お住まいの地域ということで、竜王地域、敷島地域、双葉地域、カッコで、自治会名と。

議員定数等についてということで、設問4、甲斐市議会議員定数について、22人だと知っている、知らない。

設問5、議員定数を決める考え方について、複数回答可ということで、人口規模、面積、近隣他市との比較、わからない、財政状況、その他。

設問6といたしまして、今後の議員定数について、現在のままでよい、現在より増やすべきだ、現在より減らすべきだ、わからない。米印で増員、減員した場合の議員定数はカッコ人が妥当である。

設問7として、上記で回答した理由について、自由記載ということで米印にしてあります。

設問8、議員報酬について甲斐市の議員報酬は月額35万円です。あなたはどう思われますか。適当である、増額すべき、減額すべき、わからない。米印、増額、減額の場合の報酬月額は何万円が妥当である。

設問9、上記で回答した理由について、複数回答可。責任、活動に対して少ないと感じる、活動に対して多いと感じる、なり手不足解消のため増額すべき、わからない、その他。その他は自由記載のところがございます。

本日の研修会について、設問10、研修会の感想について、大変満足、満足、普通、不満、大変不満、その他ご意見、ご要望、感想などを自由記載で書くことにしてあります。この内容についてご確認をいただいた上でご意見をいただきたいと思っております。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 1つ目の議員定数等についてと、四角の黒塗りのあるやつあるじゃないですか。これ議員定数、等についてだからいいのか。議員報酬までは入れなくていいですか、具体的に。議員定数等についてでなくて、議員定数・議員報酬についてと。何か定数が先に来ってしまうような気がするんですが、私の考え方だけだから。

以上。

○委員長（清水正二君） ここに報酬が入っているので、五味副委員長の言われる議員定数・報酬についてという設問の表題に変えたほうがいいかなと私も思いますけれども、いかがで

しょうか。

ほかに何かご意見。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） その下の設問7なんですけれども、自由記載で上記で回答した理由についてとありますよね。こういう質問するとき、例えば上記の6に回答した理由についてとかということもよくそういうやり方が多いのですけれども、上記で回答した理由についてだと、これが4、5、6全てが含まれるのでしょうか。その辺がちょっと理解しにくいのかなと思いますけれども。

○委員長（清水正二君） 今の滝川委員の意見ですと、設問7の設問6に対しての回答した理由という形で具体的に書いたほうがいいということですね。

○委員（滝川美幸君） はい、もしそうであるならば。それとも4、5、6含めた中で回答した理由を聞きたいのか、そこがちょっとこれだとよくわからないのかなと感じてますけれども。

○委員長（清水正二君） 興石係長。

○書記（興石文明君） そうしましたら、設問7のところでは上記6で回答した理由について、また、設問9のところでは上記8で回答したというふうに追加をさせていただきたいと思えます。

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにいたします。

ほかにご意見ございますか。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） このアンケート、責任所在が何もありませんけれども、いいんですかね。その講演会だからいいにはいいだろうけれども、どこで出しているかということが全く書いてない。甲斐市議会、書いてあるからいいのかな。

○委員長（清水正二君） 上にね。

○委員（五味武彦君） 上に1つだけ甲斐市議会と書いてあるだけで、あとはここにも書いてあるか。いいです。

○委員長（清水正二君） ないですね。議員定数、議員報酬に関するアンケートだけだから、これ、そうですね、下のほうに甲斐市議会。ここへね。頭へ入れるね。はい、わかりました。

それでは、議員定数、議員報酬に関するアンケートのその前に甲斐市議会議員定数、議員報酬に関するアンケートではいかがでしょう。

ほかにございますか。

よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） それでは、確認をいたします。アンケートの表題のところ、一番先に甲斐市議会議員定数、議員報酬に関するアンケートと修正をいたします。

それから、設問7に関しては、上記6で回答した理由についてと。

それから、設問9に関しても、上記8で回答した理由について。

それから、この項目のところの議員定数等についてという表題を議員定数、議員報酬についてと変えることで。

ほかにご意見がなければ、今の形で修正して進めたいと思いますが、よろしいですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） ありがとうございます。

以上で（2）の市民参加による議員研修会開催要領についてを終わります。

続いて、（3）その他を行います。

まず、次回の予定ですが、11月8日木曜日、午後1時30分から開催したいと思いますが、だめ。

[「8日はだめ」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） じゃ、2時開催。時間をずらせば。大丈夫ですか。

じゃ、1時半を2時という形でいきたいと思いますが。8日木曜日。研修会。

[「何かその週あたりとか。まだわからないですけども」と呼ぶ者あり]

○委員長（清水正二君） それでは、次回の予定を11月8日の午後2時から開催したいと思います。

また、協議の内容ですが、市民参加の議員研修会の最終協議となっておりますが、そのほかに協議事項などご意見がございましたらお聞きしたいと思います。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） よろしいですか。

それでは、次回は11月8日の午後2時から開催をいたします。

次に、委員より何かございますか。ございませんか。

[発言する者なし]

○委員長（清水正二君） なければ、議長から何かございますか。

○議長（長谷部 集君） ないです。

○委員長（清水正二君） 事務局からありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時19分